

テクマトリックス Redmine クラウドサービス 生成 AI 連携機能利用特約

第 1 条(目的・適用範囲)

1. 本特約は、弊社が提供するテクマトリックス Redmine クラウドサービス(以下評価用を含み「本サービス」といいます。)に関連して、本サービスの利用者(契約者及び申込者を含みます。)と生成 AI サービス提供者間での契約に基づき取得した生成 AI サービス用の API キーを本サービスに登録し、当該生成 AI サービス提供者が提供する生成 AI サービスと連携する機能(以下「本連携機能」といいます。)の利用条件を定めることを目的とします。
2. 本連携機能の利用にあたっては、「テクマトリックス Redmine クラウドサービス利用規約」(以下「クラウドサービス利用規約」といいます。)又は「テクマトリックス Redmine クラウドサービス(評価用)利用規約」(以下「クラウドサービス(評価用)利用規約」といい、クラウドサービス利用規約と総称して「本サービス利用規約」といいます。)に加え、本特約が適用されます。本サービス利用規約と本特約の定めが矛盾又は抵触する場合には、本特約の定めが優先して適用されるものとします。
3. 利用者が本連携機能を利用したことをもって、本特約の内容に同意したものとみなします。

第 2 条(定義)

1. 「生成 AI サービス」とは、OpenAI 社が提供する ChatGPT API、Microsoft 社が提供する Copilot 関連 API その他、利用者が自己の責任と費用において当該生成 AI サービス提供者との間で契約を締結し、API キーを取得した上で本連携機能に接続する弊社以外の第三者が提供する生成 AI サービスをいいます。
2. 「API キー等」とは、本サービス上で生成 AI サービスを利用するために必要な API キー、トークンその他の認証情報をいいます。
3. 「入力情報」とは、利用者が本連携機能を利用した際に、本サービス上で入力又は登録するプロンプト、テキスト、ファイルその他一切の情報及び利用者が生成 AI サービスに読み込ませることを指示した本サービス上に保存されたテキスト、ファイルその他一切の情報をいいます。
4. 「生成物」とは、生成 AI サービスに入力情報を送信した結果として生成され、本サービス上で表示又は取得される文章、コード、画像その他一切の出力をいいます。

第 3 条(連携形態および当事者関係)

1. 生成 AI サービスは、利用者とその生成 AI サービス提供者との間の契約に基づき提供される第三者サービスであり、弊社は当該生成 AI サービスの提供主体ではありません。
2. 弊社は、利用者が本連携機能に登録した API キー等を用いて、利用者の指示に基づき生成 AI サービスと本サービスとを技術的に接続し、入力情報を当該生成 AI サービスに中継するとともに、その応答として生成された生成物を本サービス上に表示又は保存できるようにすることのみを役務として提供します。
3. 利用者は、本連携機能の利用にあたり、生成 AI サービスの利用規約、データ処理規約、プライバシーポリシーその他の条件(以下「生成 AI 利用条件」と総称します。)を自己の責任において確認し、遵守するものとします。

第 4 条(入力情報の取扱い)

1. 利用者は、入力情報について、関係法令及び利用者内部の情報管理規程等に従って本連携機能を利用するものとし、個人情報、機微情報、営業秘密その他の機密情報を入力する場合には、自らの責任において行うものとし、
2. 利用者は、本連携機能の利用に伴う生成 AI サービス提供者への入力情報その他のデータについて、クラウドサービス利用規約第 31 条及びクラウドサービス(評価用)利用規約第 22 条の定めにかかわらず、本連携機能の提供に必要な範囲で、利用者が選択した生成 AI サービスの提供者に対して送信されることを承諾します。
3. 利用者は、前項のデータ送信先の国又は地域(日本国外を含みます。)、当該データの保存・処理場所、保存方法及び生成 AI サービス提供者による利用方法等は、利用者が利用する生成 AI サービスの種類、契約内容および設定等、生成 AI 利用条件によるものとし、弊社がこれを決定又は保証するものではないことを承諾します。
4. 利用者は、生成 AI サービスへの入力情報の提供および外国にある第三者への個人情報の提供等に関し、適用法令が要求する本人への情報提供その他必要な対応を、自己の責任と費用において行い、弊社は責任を負わないものとし、

第 5 条(API キー等の管理)

1. 利用者は、API キー等を適切に管理し、不正利用、漏えい、紛失、改ざん等が生じないよう十分な注意を払うものとし、
2. 弊社は、利用者が本サービスに登録した API キー等を、専ら本連携機能の提供のために限り利用し、利用者の指示なく第三者に開示しません。ただし、法令に基づく開示義務がある場合を除きます。
3. API キー等の管理不備又は利用者の責に帰すべき事由により生じた、生成 AI サービスの不正利用、過大な課金、入力情報又は生成物の漏えいその他一切の結果について、弊社は責任を負わないものとし、

第 6 条(生成物の権利関係および利用)

1. 生成物に関する著作権その他の知的財産権の帰属及び利用条件は、生成 AI 利用条件に定められる内容に従うものとし、
2. 弊社は、利用者が本サービス上で生成物を閲覧、保存および再利用できる機能を提供します。生成物の権利帰属および利用条件は、生成 AI 利用条件に従うものとし、
3. 利用者は、生成物の内容の正確性、網羅性、有用性、合法性および第三者の権利非侵害性について、自ら確認の上、自己の責任において生成物を利用するものとし、

第 7 条(禁止事項)

利用者は、本連携機能の利用に際し、次の各号に該当する行為を行ってはなりません。

1. 生成 AI 利用条件に違反する態様で生成 AI サービスを利用する行為
2. 法令又は公序良俗に反する内容の生成を意図して入力情報を送信する行為
3. 第三者の著作権、商標権、肖像権、プライバシー権その他の権利又は利益を侵害し、又は侵害するおそれのある入力情報を送信する行為

4. 差別的、暴力的、わいせつその他第三者に著しい不快感を与える内容の生成を意図した利用行為
5. 弊社又は生成 AI サービスのシステムに過大な負荷を与える行為、又はそのおそれのある行為
6. 本サービス利用規約に違反する行為

第 8 条(弊社の責任範囲)

1. 弊社は、利用者が本連携機能の利用により生成 AI サービス上に送信された入力情報及び本連携機能を通じて提供される生成物の内容、品質、正確性、合法性、第三者権利非侵害性等についていかなる保証も行わず、入力情報及び生成物に起因して利用者又は第三者に生じた損害について、一切責任を負いません。
2. 生成 AI サービスの仕様変更、提供停止、障害、設定項目の変更その他弊社の合理的な支配の及ばない事由により、本連携機能の全部又は一部が利用不能となり、又はその品質が低下した場合であっても、弊社は、弊社に故意又は重過失がある場合を除き、これに起因して利用者又は第三者に生じた損害について責任を負わないものとします。
3. 利用者と生成 AI サービスの提供主体との間で紛争が生じた場合、当該紛争は当事者間で解決されるべきものであり、弊社はこれに関与せず、また責任を負わないものとします。
4. 本特約に別段の定めがある場合を除き、本連携機能に関する弊社の責任は、クラウドサービス利用規約第 29 条および第 30 条の定めに従うものとします。
5. 第 2 項及び第 4 項の定めに従わず利用者が、本サービスの評価用を利用している場合の弊社の責任は、クラウドサービス(評価用)利用規約第 21 条の定めに従うものとします。

第 9 条(本連携機能の提供停止・変更)

1. 弊社は、生成 AI サービスの仕様変更、提供停止、セキュリティ上の必要性その他やむを得ない事由があると判断した場合、事前に通知することなく、本連携機能の全部又は一部の提供を一時的に停止し、又は終了することができます。この場合、弊社は、通知が可能となった後、合理的な期間内に利用者へ通知するものとします。

第 10 条(特約の変更)

1. 弊社は、必要に応じて本特約の内容を変更することができます。弊社が本特約を変更する場合、本サービス利用規約第 22 条に定める方法により、変更内容および効力発生日を通知します。

附則

本規約は 2026 年 9 月 5 日に施行します。